

(8)まとめ

喜多方は豊かな土壌と水に恵まれ、 人々が発展を支えてきた。

喜多方の発展の歴史

喜多方は扇状地で水はけが良く、山から運ばれた豊かな土壌、良質な地下水があった。

この扇状地という恵まれた地形から農業がさかんになり、農産物を交換するための市場がやがてまちを形成していった。この喜多方のまちには、隣県からの商人・職人など様々な人が集まり、醸造業や文化を生み出すとともに、明治になって事業を興すなど発展の原動力になった。

このように、喜多方は豊かな土壌と清らかな水を背景として、まちの人々が発展を支えてきた地域である。そして、その下支えとして物流がある（次ページにつづく）。

